

全佛通信

No. 9 八月号

発行所 東京都中央区築地3~1
(本願寺内) 全日本仏教会
 発行人 岩野真雄
 編集人 柳了堅
 印刷所 栄昌堂印刷工業株式会社
 購読料 一部12円 1ヶ年分 150円(送共)

日本佛教徒に告ぐ

全一佛教への道 ビルマ連邦総理大臣ウ・ヌー



熱烈なる仏教信仰で新興ビルマを精神立国の下に指導し国民から絶対の信頼を受けているビルマ連邦ウ・ヌー首相は夫人同伴随員五名と共に七月十九日午前八時羽田空港に到着した。同首相の来日目的の一つは日緬仏教の親善提携であつたよう、全日本仏教会では歓迎に万全を期し、同首相の好意に応へ仏教交流の面に大きな役割を果した。以下は総持寺における講演の要旨の一部である。

仏教には二つの大きな流派があるが、これは実に不幸な事実であり、全一仏教を世界的に決する為にも大きな障害であると思う。今こそ我々は此等を超越せねばならない時であると思う。

仏教で異つた宗派を固執するのは、どちらかと云うと無智な人で、いわゆる有識者ではない。然らば有識者とは如何なる人かと云うと、それは仏陀の聖教を正しい方法で熱心に実践する人々である。此等の実践をつづける事は、とりもなおさず全一仏教運動を促進する一つの大きなしづえなのである。

私は現在、切実に全一仏教の重要性を感じている。若し、日本の皆さんが全一仏教を世界的に決める為、ビルマへお出になり委員会を開催する様なれば、其等の費用は喜んで我々が負担するであります。

再び私は、全日本仏教会が日本仏教徒十名を選んでビルマのラングーン市によこされ此等仏陀のみ教を個人的に実証される事を、ここに提案いたす次第であります。

若しも皆さんが、それらの方をビルマへよこして下されば、我々はそれらの方々をゲストとしてお預りいたします。そして此等の方々が、精神的な修行を実践した後日本に帰つて参りますれば、その経験から見出したものを日本の皆さんに語る事でありましょう。私はそこに全一仏教の萌芽があると思ひます。

終りに望み、皆様に仏法僧三宝の功德のあまねからん事をお祈りいたします。

日緬佛教と国際親善に

大きな役割を果し ビルマ連邦首相帰緬

首相一行は午前八時霧雨くもる羽田空港に予定通り到着。仏教日本へオ一步を印した。空通には衆参両院議長、重光外相初め各閣僚、全仏から佐々木理事はじめ各役員が出迎した。

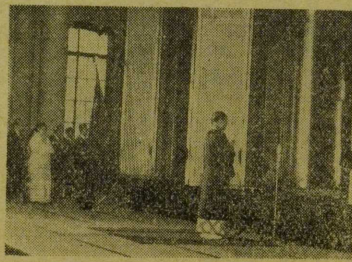
同首相は直に迎賓館に入り少憩のち、鳩山首相に来日のおいさつをなし、十時四十分からの全仏主催の歓迎仏教徒大会に臨んだ。折柄の豪雨にも拘らず本堂前に整列する築地小学校児童の出迎をうけて本堂に立錫の余地のない千余名の仏教徒の日緬両国旗や仏旗打振る中を歓呼に迎えられて本堂所定の席に着席した。

先づ柳部長の司会ではじまり開会の辞を中山国際局長が、ついで大谷光照会長の導唱によつて三篇依文を、引きつづき首相夫妻が仏前において敬虔なる礼拝献花を行い、花束を全仏、全仏婦連、築地、浅草両本願寺、崎銀、ビルマ戦没者慰霊会より夫々贈呈、立正学園聖歌隊のビルマ国歌、全員による日本

国歌の斉唱あり、大谷光照会長の歓迎の詞をついでビルマ首相のメッセーヂがなされた。特に同首相は仏教の全世界の運動の展開を強張し滞日中に仏教講演をたのまれればぜひやりたいと仏教による親善を強調した。

つぎに全仏より記念の念珠を一連づつ一行に、また首相には香炉と名香及び有地氏から寄贈の青滋の達磨大師像を佐々木理事長より贈呈し、全仏婦連からは首相夫人に真珠のくびかざりを山本杉理事長がおくつた。

最後に友松事務総長の閉会の辞があつて、千代田女学園聖歌隊による仏教徒の歌が声高らかに響く旗の波の中を一行は歓呼にこたへて合掌しつゝ、十一時二十分本願寺を出発、鳩山首相の招待会に臨んだ。



【寫眞】築地本願寺でのウ・ヌー首相歓迎仏教徒大会に於ける大谷全仏会長の三篇依文導唱

各宗派から記念品をおくる

ウ・ヌー首相一行は日程が短時日のため、京都、奈良方面へ参拝することが出来ず非常に残念がつておられたが、関西事務局では各宗派に呼びかけ、記念品をまとめ全仏本部へ送つて来たので、関東各宗の分と共にリストを作り、中山国際局長、柳同部長が二十二日午後五時迎賓館に同首相を訪問し贈呈したところ、同首相は各宗派のおくりものに對し、非常に喜ばれよろしく伝えてほしいと語つた。

- 記念品をおくられた各宗派次の通り、
- 曹洞宗、東本願寺、西本願寺、天台宗、日蓮宗、高野山真言宗、智積院、東大寺、知恩院、法隆寺、薬師寺、真宗高田派、総持寺、円覚寺等。

地方組織の確立と躍動のために

府縣佛教會代表者會同開く

去る七月三日午後五時より築地本願寺で、全国府県仏教会代表者会同が開催された。出席は東京、神奈川、埼玉、栃木、山梨、新潟、北海道、愛知、静岡、福岡、島根、京都（近畿二府四県代表）秋田、岩手、山形、等の各府県から各々府県仏教会長（又は代理）と全仏から事務総長以下全局部長で、事務総局の提案を中心に本年度の運動目標たる地区仏教会組織の確立強化と活潑な布教の展開の爲の具体的方策に就き検討を加えた。本会同の協議内容は主要次の如くである。



〔寫眞〕 府県仏教会代表者会同で協議中の各代表

都道府県仏教会組織とその運営の強化策
各府県仏教会は市郡町村仏教会と更に緊密な連絡提携を図り相互の活動を強化する。更に全国を九ブロックに分け、ブロック内県仏の連絡を強化すると共に総合的企画により地方仏教運動を活性化させる。仏教婦社事等は夫々の機関の助成発展に務め全仏運動の強化を図る。法人登記税金問題等に就いては各宗と国家補償要請は各宗派とも連絡をとり慎重に研究を進めたと上善処する。斯様な活動を進めて行く為にも、機関紙「全仏通信」に依り

果下郡市町村仏教会へ連絡を強める。
全国地区傳道について

都道府県仏教会は少くも年一回全地域集中或は、巡回伝道を行う。郡市町村仏教会は果仏を通じて全仏とも連絡し、夫々の単位で伝道を行う。このための講師派遣については全仏でもできる限り尽力する。全仏派遣の際は交通費全仏負担、講師謝儀宿泊費は主催者負担、伝道の規模によつては全仏より係員も同道、期間は年中随意、但し講師派遣希望は一ヶ月以前に連絡のこと。その他伝道資料としてパンフレット、トラクト等希望により無料配送（個人希望は応

多大の成果をおさめ

全佛中央講習會おわる

才二回中央講習會は、去る七月一日より築地本願寺で開催され、一日十時半知切光蔵講師の「放送文芸と教化」により三日間に亘る講義が開始された。知切講師は現代のマス・コミュニケーションの時代の布教、其の爲の種々な技術的考慮に就いて、其の長い経験からの見解を表明。午後は権藤田立講師の「現代教化と音楽」で、伝統的な仏教儀式の中に深い音楽的芸術的意味を見出すと共に布教活動に音楽をとり入れる事の重要性を強調され、内山憲尚講師はその経験と深い学識に依り、寺院の児童、青少年教化の在り方に就いて具体的教示を与えられた。引続き北村大栄、山本杉、米山久、猪俣興一、紀野一義、谷氏と岩野局長を中心に青少年教化問題につき座談會に入り、仏教、仏婦問題、青少年不良化防止問題等に就いても広範な研究を行った。

じられず）。仏旗、仏教徒の歌普及にも努力する
また青少年、婦人、社事、教理、音楽等の各種講習を開催する場合の講師派遣も右に準ずる。

都道府県仏教会負担金について

本年の全仏予算中、都道府県仏教会、その他加盟団体（宗派を除く）の負担金は二百万円、都道府県は寺院数により計算し（一ヶ寺十五円）これに府県の級別による割当金を加えて、各府県の負担金を算出した。これは仏教徒募金によることとし、割当額を越えれば、超過額の六割をその地区の資金として戻す。この負担金については全代表がその目標を完遂し、全仏運動の経済的基礎を確立するための努力を約された。これはビルマ首相来日等によりいよ／＼具體化しつつあるので各地の遺族への連絡を



〔寫眞〕 才二回中央講習會々場にて講演する 阿部真之助講師

才二日目は午前十時より阿部真之助講師の「現代の日本」と云う評論の後新興宗教特に創価学会についての座談討議を行い、大石秀典執行海秀、菅谷正貞、宮崎英修、中濃教篤の各中心発言者の説明と参加者による質疑で研

図り弔祭方法を研究する。このため九月末頃までに各府県仏で管下各寺院を通じ、ビルマ方面に於ける戦没者氏名、戦死場所階級、法名等を調査の上、全仏国際局宛報告することを申し合せた。

第三回全日本佛教徒會議身延大会

期日会場 十一月四、五、六の二泊三日間 於山梨県身延山久遠寺、参加費三百円。宿泊料千円（個人又は団体負担）。参加人員各府県推薦五名。この大会成功のために各府県仏では出来る限り努力する。

猶、本会同出席代表者は、帰郷後、広く各ブロック内の他府県仏に呼びかけ全仏加盟による組織強化をはかることが申し合わされたがその後雲藤島根仏会長長の斡旋で、早速鳥取県仏が全仏加盟の方針を決定したとの連絡があり、また蒲地福岡県仏会長が中心で目下九州各県仏の強化とブロック結成への努力が行われている。

突が行われ、午後は中村元講師が「世界思想に於ける仏教」と題して仏陀の教法が広く洋の東西に亘り影響を及ぼし来た事、また現在歌米に於て仏教研究が盛んになっている実情をバートランド・ラッセルの西洋哲学史等の資料を掲げ乍ら説明し、此様な現代の世界に於ける仏教徒としての使命の重要性を具體的な事実に基づき明らかにされた。後文部省の井上事務官、栗本俊道氏を招いて宗教法人法の解説と新法人としての登記の問題に就いて講義があり、終つて参加者中の希望者を集め都内寺院をバスで見学した。

才三日は上原専祿講師が「現代の僧風に就いて」で仏教者が真に現代に生きる為には歴史主義的現代の把握の上に自己の信仰の確立するべきを示摘され、在来の仏教者の活動の批判的發展の方向を示唆され、最後の講義は佐藤功講師で、現在の憲法改正の問題点の解説とこれへの対処に於ける慎重な検討と現在の情勢の正しい把握が必要なる旨の諸注意があり、多くの具体的資料の解説が行われた。尙此の講習會記要は近日中に編集され、八月中旬には発行の予定。

ウ・ヌー首相大山總持寺へ参拜

……一山あげての大歓迎……

多忙な日程の中をビルマ首相一行は、二十一日午前十時四十五分鶴見總持寺に参拝、まず鶴見女子高校、中校生一千三百余名や一般信徒数百名の出迎の中を勅使門前にて下車、同寺保育園児の花束贈呈をうけ、岩本勝俊監院室峰副監院の先導にて仏殿に入り、万国戦死者の慰靈法要に参拝献花をなし、座禅堂における座禅を熱心に拝み、つづいて天真閣における二千名近くの仏教徒を前に別項の如く「日本仏教徒に告ぐ」の大講演をなした、この講演会には全仏大谷会長も臨席あいさつをなし聴衆に深い感銘を与えた。

次いで紫雲台における歓迎午餐会に臨み、南方仏教国の外交団、高階管長、渡辺管主はじめ横浜市長、知事代理、仏教関係者八十余名と歓談し、記念撮影を終えて一時三十分鎌倉円覚寺へ向つた。

鎌倉円覚寺

二時に到着、舍利殿にて参拝、管長室において同派管長朝比奈宗源老師と欧米旅行について語り合い名残惜しく同寺を出発した。

鎌倉大佛

三時に大仏に到着し大仏に礼拝したのち平塚の横浜ゴム工場へ向つた、同夜篤農家石井家で宿泊し翌廿二日箱根周遊して午後四時迎賓館に帰館した。

一路ビルマへ

あわただしい四日間の日程を終えて、一行は国際親善と仏教の親善提携に大きな役割を果たし、日本における歓迎に感謝をしつゝ、同夜十一時五十九分羽田空港発で、重光外相や全仏関係者多数官民の見送をうけて機上の人となり合掌と共に雷雨の中を一路ビルマへ飛立つた。

なお一行の日本滞在中を外務省では天然色

映画に収録し朝日ニュース映画村が作成しビルマへおくることになつてゐる。

租税特別措置法について

今回左記の通り文部省より通知があつたのでお知らせ致します。

文調宗 才一六四号

昭和三十年七月十八日

文部省調査局長

内藤 譽三郎

全日本佛教会理事長 殿

宗教法人法附則才一八項の規定により宗教法人が承継した不動産に関する権利の取得の登記(境内地及び境内建物の場合を除く)。にかゝる証明についてこのたび「租税特別措置法等の一部を改正する法律」(昭和三十年六月三十日法律才三三三号)及び「租税特別措置法施行規則の一部を改正する省令」(昭和三十年六月三十日大蔵省令才三一三号)の公布施行により、旧規定は改められ、標記にかゝる登録税の免除の適用をうけることができる最終期日は昭和三十一年六月三十日となつたのでお知らせ致します。

大谷会長を囲む会を開催

今回ビルマ首相来日歓迎のため、本会々長大谷光昭殿下が東上されたので、その機会に同会長を囲んで種々本会運営に関する懇談会を去る十九日正午より築地本願寺に於て開催した。

大谷会長の挨拶、友松事務総長、北島、岩野、中山の会局長より所管事項の報告に引続

き椎尾、長井両副会長、各出席職務理事より種々なる意見の開陳があり、会長殿下も長時間に亘り熱心に懇談された。当日の懇談会は今後の本会活動の展開に当つて、意義ある集いであつた。出席者は

長井、椎尾副会長、長岡、重永、栗本、倉持、山本杉、堤、藤音の各常務理事、全仏総長局長部長

秋田で縣佛組織強化成る

秋田県仏教会の再組織大会は去る七月九日午前十時より角館町常光寺で開かれたが、全仏からは新潟、秋田県下に伝道の旅を続けていた友松事務総長がこれに出席し、全仏への協力と全一仏教運動推進の重要性を訴えた。

この大会で朽木正己氏が県仏会長に選任され、決議、宣言が採択されたが、会長以下の役員は「県下各宗派寺院、壇信徒団体を結集し、一致協力、もつて教法の開顯と弘通に邁進」し「全世界の仏教徒と提携し、世界平和、万邦協和の理想土の実現」に向つて努力すべく、具体的運動の実践のための準備に着手した。猶、友松総長は、大会後引続き県下各地の伝道を行い、十一日帰京した。

新潟で集中傳道

全仏ではかねてから新潟県仏教会長安藤壽雄氏と連絡、新潟県下集中伝道を計画中であつたが、安藤会長の献身的な努力によつて現地の具体的折衝も完了、諸準備が成つたので去る七月五日より七日までの三日間才一期集中伝道として出雲崎の西越高校、岩塚の明鏡寺、与板町公民館、長明寺、柏崎の柿崎中学校等の各処で友松事務総長による公開講演会が開かれた。

現地では県下各地区仏教会、地元寺院の全面的な協力により、各地で多数の聴衆を動員し、非常な成功であつた。なお、このようにな集中伝道を通じて県仏教会の結束と仏教運動の躍動を招くことが、今後の全仏運動の推進の上に貴い経験として評価されている。

趙樸初副会長来日

来る八月六日より広島で原水爆禁止世界平和大会が開かれ多数の外国代表の来日が予定されているが、中国より仏教協会副会長趙樸初氏の来日が決定した旨の入電があつた。氏の来日は中共治下の仏教事情を明らかにし、また日中の仏教交流の上から注目されている本会では十六日歓迎会をひらく予定

古書 佛旗の御用は中山へ

東京都文京区湯島三組町十三番地 仏教書肆 中山書房

振替東京一八〇三二八番 電話(83)八四九四番

佛旗を掲げませう

大 一八〇〇円 中 三五〇円 小 九〇円

佛教徒の歌 法のみ山レコード

一枚 二〇〇円 送料 一五〇円

全日本仏教会

編集後記

◆ 佐々木理事長は高階管長と共に、八月下旬ブラジル巡教の途につかれる。

◆ 世界宗教会議は八月一日より開かる。仏教関係者の外国代表は二十余名参加、本会でも歓迎会をひらく予定。

◆ 国際局の松澤主事は浄土宗開教師として、本月下旬にハワイへ向け出発活躍を大いに期待。

◆ 暑中の御健康を念じて居ます。(西)

お知らせ

全仏の電話番号は、七月三十日より東銀座局(局番54)〇三一三番に変更します